

少人数教育推進検討委員会報告書提出式 あいさつ

ただいま、少人数教育推進検討委員会：中村委員長様より報告書の提出、また概要の説明をいただきました。昨年9月から5回にわたる検討委員会での議論を経て報告書をまとめていただき、誠にありがとうございます。

本県ではこれまでも、国の標準より踏み込んだ少人数学級の編制を可能とする「はぐくみプラン」を実施してまいりましたが、昨年度の少人数教育推進検討委員会の報告を受け、来年度（令和3年度）から小学校1年生に25人学級を導入することとし、現在、その準備を重ねているところであります。

県教育委員会では、本県で育つ全ての子供たちがそれぞれの個性を生かして将来の社会に力強く生きてほしい、と願い、児童生徒一人一人に向き合った、きめ細かで質の高い教育の実現を目指しております。少人数教育の推進は、そのための確かな土台となるものであり、昨年度に引き続き今年度も検討委員会を設置し、委員の皆様には検討をお願いして参りました。

本日の報告書は関係各方面からご出席いただいた各委員の様々なお立場からの貴重なご意見をもとに、学校や地域の実情を考慮しつつ、今後の少人数教育推進の方向性についてまとめられていると伺っています。事務局においては、この報告書の内容を踏まえ、具体的な施策につなげていきたいと考えております。

委員の皆様には、今年度は新型コロナウイルス感染拡大という、きわめて困難な状況の中でありましたが、本県の少人数教育推進のためにご尽力いただき、たいへんありがとうございました。

検討委員会での毎回の議論は、望ましい学級規模についての考察にとどまらず、子供の成長過程について、またそこにおける大人と子供の関わりなど、教育という営みを広く、様々な角度から、柔軟に捉え直すものであったように感じています。詳細に、そして丁寧に進めていただいた議論は、私を含め事務局にとって、とても意義深いものであったと思います。

中村委員長をはじめ委員の皆様方に対し、改めて深く感謝申し上げ、以上をもちまして、お礼のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。